

(案)

福島市長 木幡 浩 様

福島市廃棄物減量等推進審議会
会長 樋口 良之

「ごみ減量大作戦」の検証結果を踏まえた
ごみ処理有料化の導入について（意見書）

市民のごみ減量に対する取組の成果もあり、ここ数年、福島市のごみ排出量が減少傾向にあります。この間、「ごみ減量大作戦」が展開され、いくつものアイデアが導入されました。とりわけ、最近の災害、コロナ禍といった排出増の要因がある中にも、排出減となっていることは、「ごみ減量大作戦」が一助となったものと評価しています。

平成 30 年 11 月 22 日に本審議会は、「排出量目標を達成出来なかった場合、ごみ処理有料化もやむを得ない」という内容で最終答申を提出しています。コロナ禍や災害による排出増を推計し、それを除外してもなお排出量目標は達成されませんでした。目標未達の結果を受け、審議会としてもごみ処理有料化に向けた検討を進めてまいります。

しかし、ごみ処理有料化導入については、次の事項に配慮が必要であると考えます。

- ① ごみ処理有料化は市民の経済的負担も心配され、導入時期については、災害発生、コロナ禍、物価高騰等の状況を見極め、判断すべきと考えます。
- ② ごみ処理有料化導入までの期間においては勿論、導入後においても、ごみ減量の取り組みを創意工夫し継続すべきと考えます。

以 上